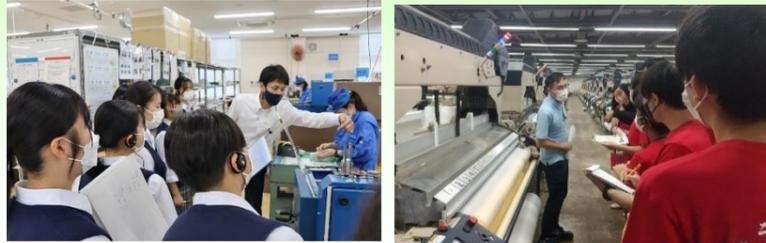


(1) 圏域全体の経済成長のけん引

② 繊維産業販路拡大支援

- 若い世代に向けて、福井の基幹産業である繊維産業の魅力を発信し、繊維産地ふくいの認知拡大を図るとともに、担い手の掘り起こしを行うために、高校生、大学生を対象に圏域内の繊維企業への「繊維産地ふくいツアー」を実施。
- 圏域内の繊維企業11社、生徒・学生のべ96人が参加。経営戦略や製造工程、最先端の技術などの説明を受け、地元繊維産業について理解を深めた。



【繊維産地ふくいツアー】

⑦ 特産品販路開拓・拡大

- 圏域内の特産品を販売・PRし、認知度向上と販路拡大を図るために、首都圏の百貨店や商業施設のイベントスペースを活用して移動式アンテナショップを設置し、物産展を開催。
- 約2~3週間ずつ首都圏の百貨店や商業施設計5カ所※を移動しながら、様々な世代や属性の消費者にアプローチし、約14,000人に対して、そばや油揚げなどふくいの自慢の味から恐竜グッズに至るまで、福井の魅力をPRした。

※首都圏5カ所の会場
上野マルイ、マルイシティ横浜、大宮マルイ、新宿マルイ、丸井吉祥寺店



【物産展の様子】
(上野マルイ) (マルイシティ横浜)

⑭ ふくいプロモーション

- 四季折々の景色や食べ物など、嶺北エリアの観光資源の発掘や住民による積極的な観光情報の発信を促すために、Instagramを活用した「動画コンテスト」を開催。
- 投稿者自身の目線で切り取った「ふくいのとっておき」や「自分だけが知っているふくい」が、約700点集まった。
- 各受賞作品は、福井市のInstagram「福いいネ!くん」や観光ポータルサイト「福いろ」で公開している。



【募集チラシ】



【グランプリ (朝倉氏遺跡他)】

⑯ 外国人旅行者向け情報発信

- 北陸新幹線福井開業や「大阪・関西万博」などに向けたインバウンド推進のために、外国人の目線から魅力的に映る圏域内の観光素材を多く盛り込んだ新たな観光パンフレットを制作。
- 英語版6,500部、フランス語版3,500部を制作し、県内の主要観光地や道の駅、東京や大阪などの県事務所、駐日外国公館などに配布した。



(2) 高次の都市機能の集積・強化

⑰ 公共交通ネットワーク構築

- 複数の公共交通を最適に組み合わせた経路検索や予約、決済が一括してできる「ふくいMaaS」の導入に向け、協議会を設立。
- 1日フリー乗車券などの既存の企画切符や、「交通と施設」「交通と飲食店」など、各市町の特性に応じて移動手段と目的地を組み合わせた新たな企画切符を電子化し販売する、実証実験を実施した。



【実証実験チラシ】

(3) 圏域全体の生活関連機能サービスの向上

⑳ 成年後見制度利用促進体制整備

- 圏域内7市町※で連携し、制度の広報や相談を担う広域的な中核機関の開設に向けて協議を進め、令和4年6月3日に「ふくい嶺北成年後見センター」を開所。

※7市町
福井市、勝山市、鯖江市
永平寺町、池田町、南越前町
越前町



【ふくい嶺北成年後見センター開所式】



【ふくい嶺北成年後見センターのパンフレット】

- センター開所以来、連携市町への出前講座をはじめ、住民向けの講演会や相談会などを通じて、制度の普及啓発を図った。

相談人数 103人、相談件数 250件
(令和5年1月末時点)

㉑ 女性・若者等就労支援

- 若い人たちに、地元ふくいの企業の魅力を伝え、ふくいへの就職意識を高めてもらうために、「魅力ある福井の企業発信事業」を実施。
- 大学生等が、自分たちで圏域内の企業を訪問取材し、学生目線で感じた企業の強みや魅力を、Instagramを活用して発信した。



【Instagramの投稿】

